

～今回の聴きどころ～

今回の第49回定期演奏会ではヴェルディ、マスカーニ、ポンキエリという三人のイタリアのオペラ作曲家の作品と、「白鳥の湖」「くるみ割り人形」などバレエ音楽で知られるチャイコフスキーの交響曲をお聴きいただきます。

最初に演奏いたしますヴェルディの歌劇「運命の力」序曲は、舞台の開幕前に演奏するために作られた曲で、これから演じられる悲劇的なオペラの内容を予告するように劇中の音楽を巧みに用いながら劇的な構成で作られています。

2曲目はマスカーニの歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」の間奏曲です。劇中で演奏される楽曲の中でも特に知られている大変美しい曲で、単独での演奏機会も多い曲です。

前半最後の曲はポンキエリ作曲による歌劇「ジョコンダ」の劇中、第3幕で踊られるバレエ「時の踊り」の音楽です。おそらく原作のオペラを知らない方でも、この曲なら誰もが一度は耳にしたことがあると思える軽やかで優雅なメロディーを持つ可愛らしくて親しみやすい一曲です。

後半に演奏するのはチャイコフスキーの交響曲第5番です。チャイコフスキーの交響曲で一番知られているのは「悲愴」という副題のついた交響曲第6番ですが、過去に伊豆フィルの演奏会でも取り上げた交響曲第4番も含めて、この3つの交響曲は世界中のオーケストラで演奏される機会が大変多い交響曲なのです。この交響曲第5番はチャイコフスキーの円熟期にあたる1888年に作られた作品ですが、前作の第4番からは10年の時を空けて、様々な活動の成果をもとに作曲された新しい意欲作でした。チャイコフスキーは当初この作品のことを「大げさで不誠実」と評して気に入っていなかったようなのですが、暗から明へという分かりやすい構成や魅力的なメロディーなどの力もあって聴衆の人気は大変高く、次第に自信を深めていった作品とされています。

指揮者 和田一樹 Kazuki Wada

東京都中野区出身。

2011年、ブラジルロンドリーナ音楽祭にて優秀賞受賞。2015年ルーマニアで開催された第6回ブカレスト国際指揮者コンクールにて準優勝、2017年にはヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮しヨーロッパデビューを果たす。

オーケストラと聴衆から熱狂的に支持され、楽団の総監督より「最年少最優秀客演指揮者」の称号を受ける。以後、毎シーズンの客演を続けている。

ドラマ「のだめカンタービレ」、映画「マエストロ!」「くちびるに歌を」等において、玉木宏、竹中直人、西田敏行、木下半太、葵わかな、柄本明の指揮指導を担当。また、自身の作曲作品においては、京王電鉄・京王ライナーオリジナルBGMを作曲し、京王音楽祭にて、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で初演された。

これまでに、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、富士山静岡交響楽団、ジョルジェ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団、ヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団など国内外で指揮活動を展開している。



伊豆フィルハーモニー管弦楽団

Izu Philharmonic Orchestra



平成5年に創設され伊東市を中心に活動を行っているアマチュアオーケストラです。活動は年2回の定期演奏会の他、小編成のわくわくコンサート、地域や学校での依頼演奏等、伊豆唯一のオーケストラとして下田市や伊豆の国市などでも演奏会を開催し、地域に密着した活動を心がけ、地元出身の演奏家や演奏団体との共演にも積極的に取り組んでいます。団員は伊豆地区はもとより県内外の広範囲から集まり日々練習に取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響により活動が思うように出来ない時期もあり昨年6月以来一年ぶりの演奏会となります。また来年は創立30周年となり大きな節目となる第50回定期演奏会を予定しています。

団員募集

音楽好きの方を募集しています。一緒に演奏しませんか？
ぜひ見学にいらしてください。

練習：日曜日午後（月2～3回）

伊東市立旭小学校 宇佐美コミセン はばたき ひぐらし会館他
ホームページ：www.izu-phil.org

お問合せ：板垣 0557-32-0328 野口 090-8072-4614

伊東市観光会館ホール

〒414-0024

静岡県伊東市和田 1-16-1

JR・伊豆急行「伊東駅」より

徒歩 15分

